石部南学区
まちづくり協議会広報

平成 22 年 6 月 15 日発行

第９号

広報部

発行：石部南学区まちづくり協議会 湖南市石部南 3-5-1 石部南まちづくりセンター内 電話 0748-69-7068

平成２２年度定期総会が開催されました

４月２５日午前１０時より石部南まちづくりセンターにおいて第２回定期総会が開催されました。総会においては、来賓を代表して、谷畑市長より挨拶を賜った後、市川会長から平成２１年度活動についての総括があり、それに引き続いて事業部･専門部会の活動報告がそれぞれありました。またそれら活動に関する事業の予算にたいする決算報告があり、それぞれ承認されました。その後平成２２年度計画について説明があり、すべて承認・決定されました。

平成２２年度方針およびスローガン

経営方針

本年度の重点取り組み項目
１．安心安全･防災防犯活動の実施
２．認知度向上の取り組みを図る
３．自治会、各種団体との関係を深め
　　地域の連帯感を強化する
４．組織の見直し・強化充実を図る
５．現行事業領域の更なる深耕を図る

事業計画スローガン

住民の皆様からいただいた意見をもとに、
１．住民が主役のまちづくりを目指し、
２．住民目線での事業を捉え、
３．住民参加から住民協働、
４．住民主導、住民主体
となる事業展開の推進に取り組んで行くことといたします。

焦らず、継続的･持続的なまちづくり事業の実現

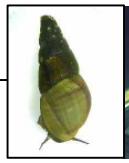
平成２２年度事業部会活動計画

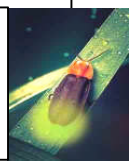
総合

- 防災訓練の実施（起震車体験）
- ふれあい祭りの開催、いもち送りなどの伝統行事のＰＲ

里山小川部会

- カワニナの増殖やホタル観察会を通じてホタルの飛び交うやさしい環境作り
- 里山の風景を守る「里山の整備と活用」への取り組み





地産地消部会

- 「いもつぶし」などの伝承料理の作り方の学習、ＰＲ
- 休耕地の活用によるふれあい農園の開設
- 催事での地元野菜の販売

文化芸術部会

- 地元の文化財・史跡巡りイベントなどを通して造詣を深める
- 地元歴史探訪会の開催

人づくり部会

- 声かけ･あいさつ運動の展開
  11 月を強化月間とする啓発活動
  標語・ポスターコンクール開催
- 地元学講座の開催（年２回）
  第１回テーマ「防災」　８月末予定
  第２回テーマ「昔の遊び」（未定）

スポレク部会

- スポーツ・イベントの実施

広　報　部　会

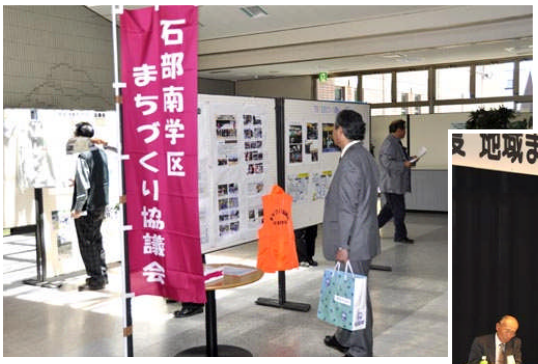
- 広報紙の発行
- 広報掲示板の活用
- ホームページの維持･管理
- 協議会シンボルマークの募集、決定
- 住民アンケートの実施
- 広報支援体制の充実

事務局

- まちづくり拠点づくり
- 事務局インフラの整備（電話・FAX・インターネット環境）
- まち協実務、住民・各種団体との窓口業務の継続

地域まちづくりフォーラム

５月２９日（土）午前９時３０分より市民学習交流センター（サンヒルズ甲西）にて、谷畑市長のご出席のもと湖南市内５グループのまちづくり活動報告がありました。その後のパネルディスカッションでは当協議会から市川会長が、熱い抱負を語りました。



石部南学区のブース

抱負を語る市川会長

石部南学区長と各区自治会の新しい区長さんの紹介

山本清孝　学区長
（西寺・丸山区長）

大島正秀　副学区長
（宝来坂区長）

平成２２年度の学区長、各区の区長さんが
決まりました。この一年間ご苦労様です。

山本清孝氏　（西寺・丸山区長）
湖南消防第５分団後援会会長
学校後援会会長

大島正秀氏（宝来坂区長）
湖南消防第５分団後援会副会長
学校後援会副会長

西川博海氏（石部南区長）

（新任）　東野信男氏（宮の森区長）

（新任）　吉川武一氏（東寺区長）

各区・施設だより

西寺・丸山区　　そばの種まき

６月６日(日)昼から西寺・丸山区の鷲尾地先の畑で信州そばの種まきが実施され、有志１６名が参加しました。これは区の秋の行事で、区民のみなさんに、そばを味わってもらおうというものです。里芋の苗とコンニャク芋も少しあり、ついでに植え付けてもらいました。
秋には「いもつぶし」もできそうです。

種まき

里芋の植え付け

宝来坂区　　子供春祭り

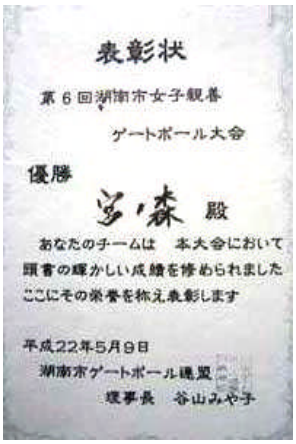
５月３日に行われました、宝来坂区子供春祭りの状況です。自治会役員をはじめ、多くの人の協力で盛大に開催されました。区内と、もみじ・あざみ寮を巡行しました。天候もよく、３世代が一同に集まり楽しい１日でした。もみじ寮、あざみ寮の皆さん、大変お世話になりました。

宝来坂集会所<起点>→自治会区巡行→十禅寺公園→もみじ・あざみ寮→集会所

子供行列

みこしかつぎ

宮の森区　　湖南市女子ゲートボール大会で優勝


表彰状

第６回湖南市女子親善
ゲートボール大会

優勝
宮の森 殿

あなたのチームは　本大会において
頭書の輝かしい成績を修められました
ここにその栄誉を称え表彰します

平成22年5月9日
湖南市ゲートボール連盟
理事長　谷山みや子

５月９日行われた湖南市女子ゲートボール大会で宮の森チームが優勝しました。また４月２６日の市民ゲートボール大会でも４戦全勝でしたが、惜しくも得失点差で２位となりました。

ゲートボールはこわい、きびしい、難しいといわれていますが、宮の森では女子６名、男子４名が毎日楽しく練習をしております。練習場は南小学校西側と宮の森のゲートボール場です。新規加入を歓迎します。是非一度見に来てください。

宝来坂区　　かなかなサロン

小地域福祉活動の一環として毎月行事を行っております。４月度行事として丸山地区で、たけのこ堀り体験を実施、たけのこ料理を楽しみました。約７０名の参加で、世代間の交流が一層深まり有意義な一日でした。

たけのこ堀り作業中

採れた沢山のたけのこ

もみじ寮・あざみ寮　　春祭り

去る５月１日（土）社会福祉法人大木会のもみじ・あざみ寮で春祭りが行われました。寮生の健康と安全を祈願して、たるみこしを担ぎ、吉姫神社に奉納します。参加者は寮生・職員の８０名および地域住民等支援者を含め総勢１００名が参加しました。みこしは、もみじ・あざみ寮→石部南小学校→フォトプラザカト―店前→吉姫神社（奉納）→石部小学校前駐車場→武田酒店→宝来坂集会所→もみじ・あざみ寮の順に巡行しました。またプロ劇団の「らせんかん」によるパフォーマンスもおこなわれ一同楽しい時間を過ごしました。

たるみこし巡行

劇団「らせんかん」のパフォーマンス

今後も各区の情報をできるだけ多く載せていきたいと思います。
各区のニュース、情報をお待ちしています

安心安全だより

西寺・丸山区防災訓練の模様

６月６日(日)西寺・丸山区において、土砂災害・全国統一訓練の一環として防災訓練が実施されました。８時３０分に気象庁より大雨洪水注意報が発令されたとの想定で、９時には警報になり、９時２０分には湖南市の防災行政無線により避難準備情報が流されました。びわこ放送のテレビ取材もあり、住民の避難や消防車によるパトロール、対策本部への報告等カメラの前で整然と訓練が進行しました。１１時過ぎに避難指示が解除され、一同は、ハザードマップによる土砂災害の勉強会を行いました。なお参加者は、役員を入れて７０名でした。これは、一世帯一名参加したことになります。

宝来坂ふるさと防災チームと湖南市消防第５分団との合同消火訓練

６月６日(日)に自治会ふるさと防災チームと消防第５分団との合同消火訓練が行われました。

湖南市消防第５分団

きたる８月１日(日)に開催される、第４５回滋賀県消防操法訓練大会に出場するために訓練しています。週３、４回のペースで朝早くから夜遅くまで、第５分団が一丸となって優勝を目指して厳しい訓練を行っています。皆さんの応援よろしくお願いします。

5 月 22 日(土)市幹部･消防署による激励会の様子と放水訓練

連載　歴史の小径

（第１回）

今月号より、郷土の歴史を振り返り、先人の遺した功績をたどるコラムを連載します。出典は主に、郷土歴史研究家の竹内利夫さんの自費出版本「郷土の歴史を振り返って」によります。転載を快く引き受けていただきました竹内利夫さんにお礼申しあげます。

それに先立って５月２３日(日)、石部南まちづくりセンターで文化芸術、スポレク部合同の歴史勉強会が行われました。今回は、金山(かなやま)という銅や鉄を産出したところの歴史的背景からお話いただきました。今回はこの中から紹介します。

竹内利夫氏プロフィール

生年	昭和 10 年　75 歳
役職	ＮＰＯ法人　歴史の道　東海道宿駅会議石部宿代表
著書	郷土の歴史をふり返って 初版　2006 年 3 月、再販　2006 年 8 月
歴史資料	石部町史（昭和 34 年発刊）、新修石部町史（平成元年発刊）、甲西町史、その他資料多数に造詣がある。（全て独学にて習得）

◆石部金山（かなやま）

金山(かなやま)は、石部山吹屋谷に延宝 3 年（1675）330 年前に開発されたといわれるが、その時は岩窟があったとされる。　数百年前に銅山として採掘されたが量が少なく、勘定に合わず中断したと記されている。　石部金山(かなやま)は、かなり古い時代から銅の採掘が行われていた事がわかる。野洲町に明治 14 年に 14 個の銅鐸が、また、昭和 37 年にも 10 個が発見されているが、野洲町の大岩山とは直線距離で直北に僅か 7ｋｍ足らずの近距離にある事でもわかるように、この銅鐸の銅は石部金山で採掘されたものではないかとも言われている。これは栗東市辻に鋳物師の村があり蒲生町に大字鋳物師がある。

これらをみると繋がりがあり、平安時代には金山(かなやま)から金を産出したと伝えられているが、それ以前、天平 14 年（742）1250 年前に聖武天皇が山城から信楽へ紫香楽の宮を造営され、天平 15 年には大仏造立の発願の年であり、この建築に使用する鉱物がこの金山(かなやま)から採掘されたといわれている。

こうして西寺から東寺を経て、信楽に通じる資材運搬道が造られたわけである。　その後もたびたび採掘に手が加えられた。安永 6 年に 3 回ばかり採掘され、銅が産出されたが量産できなかった。

さらに、慶応 2 年（1866）137 年前に滋賀郡別保町の定治郎が、石部山に鉱石を捜し求めて甘坪山で鉱石を見つけた。慶応 3 年に開鉱したが 3 年後の明治 2 年には採掘量が減少して休山となった。

今も近世発掘の（金山）精練所跡地に草も生えず、あたり一面はゴロゴロと重々しい赤さびた石がみられる。この精錬所跡は、江戸時代のものと伝えられている。

また近年では昭和 18 年～20 年の太平洋戦争中に鉄の不足によっても採掘され、その採掘跡の立穴や横穴が現在もみられる。

2003　冬